



# ささゆり

9月3号

令和3年9月15日  
七尾市立中島小学校

TEL 66-0055

FAX 66-6650

文責 岩崎

教育目標 「心身ともに健康で、自ら考動する児童の育成」  
めざす子ども 「ななかよ<sup>く</sup>か<sup>し</sup>こ<sup>く</sup>ぶんから<sup>ま</sup>なぶ中島っ子」  
学校メールアドレス [nakasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp](mailto:nakasho@edu.city.nanao.ishikawa.jp)

## 安心安全な学校を目指して！

13日(月)に地震津波の避難訓練を実施しました。1限目に、各クラスで①「地震が起きたら、どうすれば身を守ることができるのか、安全な場所はどこなのか、自分で考え、判断し、行動する。」②「津波の速さや被害の様子を知り、避難の仕方(心得)を学ぶ。」などについて、生徒指導部が作成したプレゼンを使って、事前指導を行いました。

そして、2限目に能登沖を震源地とする地震が発生したと想定し、運動場へ避難(避難開始の放送より3分54秒で完了)しました。その後、津波発生連絡で、校舎3階の屋上へ2次避難(4分31秒)しました。

私は、中島っ子に「今日の避難訓練は、自分の体や命は自分で守ることができるように、か<sup>し</sup>こ<sup>く</sup>、ま<sup>な</sup>ぶ<sup>こ</sup>とができたかどうか振り返って欲しい。」と話しました。ご家庭でも、万一の災害に備えて、どこを避難場所にするのか話し合ったり、実際に行ってみたりして確認していただけるとありがたいです。



机の下に避難している3年生



運動場に一次避難



屋上へ二次避難

## 自己有用感を高める取組

今回は、3・4年の一部を紹介します。今後の取組の参考にさせていただければ幸いです。なお、紙面の都合で一部編集させていただいたことをご了承願います。

「なんか手伝うことある〜?」と台所まで来てくれ、「やることあるなら無理しなくていいよ!」と返すと、「大丈夫〜疲れていたらちゃんと休んでよ!」と気遣ってくれ、本当にありがたい存在です。

夏休み中に料理を手伝うようになり、次第に作ってみたい!から作りたい!!になりました。「俺が作ったよ」と嬉しそうに父に報告し、「上手だよ、おいしいね」と沢山誉めると、「次何作ろうかな?」と意欲が膨らんでいます。

朝方まで仕事の時、誰よりも早起きをしておにぎりを作ってくれました。「お仕事お疲れさま」と言われ、すごく涙が出そうでした。

我が家は8人家族です。「家族のみんながあなたのことが好きなんだよ」と話をしました。「私も好きだと思う」と照れながら答えていたのが可愛らしく、言葉にして伝えてあげること大事なことだと思いました。

3年生給食配膳の様子



私が忙しく動いていると、自分から「お茶碗運ぼうっ」と言って、さっとお手伝いしてくれました。「ありがとう」とギュッと抱きしめると、にこにこ笑顔で少し照れくさそうにしていました。子どもの成長を感じました。

寝る前に父と遊んだ後、「マッサージしてあげる」と電気を消してプロのように顔や頭をマッサージしていました。「お母さんもやってもらえば?めっちゃ気持ちいいよ!」と言われ、嬉しそうでした。

お互い感情的になり、家族と言い争いをした後、夜、「明日、オレ謝るわ」と告げ、家族に「昨日はごめん、言い過ぎたわ」と謝ってくれました。その姿を見習いたくなりました。

ある日、お父さんが弟のある行動をすごく誉めていたので、「そんなところに気づいて誉めるお父さん素敵!」という、兄が「そこを褒めるお母さんすてきー」と言ってくれて、そこから褒め合いがしばらく続き、笑い合いました。家族みんなですごく幸せを感じたひとときでした。

いつもお菓子を食べる時に、周りの人にも「一つどうぞ」と分けてくれ、いつの間にか周りに気を配れる人になったのかなと思いました。

仕事で遅くなると、以前は「なんで?あと何分で帰ってくるの?」と言っていたのですが、今では「分かったよ。先に食べとるね。」と言うようになりました。帰った時にギュッと抱きしめ、「あなたがいるから大変な仕事も頑張られる」と伝えていきたいです。

4年生体育(保健)の研究授業



祖父母の畑の野菜をいただきに行ったときに、娘がお礼にと進んで洗濯物を取り入れてたたみ、祖父母がとても喜んでくれ、帰り際、「いい子に育ったね」と言われました。母子ともにとっても嬉しい気持ちになりました。

勉強が苦手なようですが、頑張って宿題に取り組んでいました。終わった時に「すごいね、頑張ったね。」「できるようになったね」と褒めるようにしました。家の手伝いも進んでするので「いつも助かるよ」と伝えていきます。

ちょっとしたことでも「ありがとう」と伝え、それをちゃんと聞いているのか「ありがとう」と言うことが増えました。やってくれることが当たり前でなく、お互い感謝し合える関係になり、喧嘩もほとんどなくなりました。

誕生日に「ケーキ食べてないから作ってあげる」と言ってくれ、食パンを使って美味しいそうなケーキを作ってくれました。「ありがとう。一緒に食べようね。」と言うと、「ケーキは分けて食べたらいいね」と嬉しそうに話す我が子を見て、とても幸せな気持ちになりました。

いつも余裕がなくて子どもと接する時も無表情になってしまう私に「お母さん笑って」と目を見ていってください。鬼?!から母親に戻してくれてありがとう。

Let's call..オアシスライン

～親と子のなんでも電話相談室～

受付時間: 13:00～16:00(月曜～金曜)

TEL 0767-52-0783

相談内容: 悩んでいること、困っていること

\*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

～オアシスライン担当～

